

1 本校がめざす学校像

- 1 建学の精神および教育目標（自立・協調・創造）に基づき、生徒の可能性を最大限伸ばす教育を行う。
- 2 生徒指導の充実と共に、生徒の基本的な生活習慣の確立、マナーの向上をめざす。
- 3 きめ細かい進路指導の下、生徒の多様な進路希望を実現する。
- 4 特進選抜・総合コースを中心に、大学進学実績を向上させる。
- 5 部活動を活性化させ、その活動を通じて地域社会に貢献する。

2 中期的目標（到達目標として）

- 1 日々の授業を充実させ、各コースの教育内容の更なる充実をめざす。
- 2 特進共通コースにおいては、生徒の基本的な生活習慣の確立、マナーの向上をめざす。また、学び直しシステムを確立し、転・退学生の減少をめざす。
- 3 特進選抜コースでは、大学進学実績の更なる充実を図る。また、特進選抜コース入学者の増加と共に、特進共通コースからの転コースを加え2クラス展開できるようにしたい。
- 4 IT総合コースでは、コースの専門性を更に強化し、情報化社会に対応出来るスキルを持った生徒の育成を図る。
- 5 環境福祉コースにおいては、現在評価されている保育所や幼稚園・こども園、また、高齢者施設での交流を引き続き充実させる。また、環境問題や社会福祉に対する高い意識を持った生徒を育成し、社会に貢献する力を育む。
- 6 スポーツ健康コースでは、スポーツを通じて文武両道に優れた人材を育成する。また、さまざまなスポーツやトレーニングに関する知識を学び、自らの健康の保持、増進に努める。
- 7 特進総合コースは、大学進学に力を入れると共に、コース独自の特徴を持たせるために検討を開始する。
- 8 グローバル化の進展に伴い、本校の弱点である国際理解教育に取り組む。
- 9 本校強化クラブである吹奏楽部を中心に、運動部・文化部共に部活動の活性化を図る。また、それらの活動を通じて地域社会に貢献して行く。
- 10 学校施設・設備の充実、また老朽化した校舎・トイレの改装に引き続き取り組み、清潔・安全な学校をめざす。それに伴い、生徒の美化意識を高める。
- 11 広報の充実・強化、ホームページの更なる充実を図り、本校の魅力を積極的に発信出来る体制を確立する。
- 12 精華高校教育改革プロジェクトを立ち上げる。

【学校教育自己診断の結果と分析】

平成29年度の学校運営自己診断（平成30年2月実施 教職員自己評価アンケートをもとに）

◎ 学校運営

建学の精神（教育目標）が、学校関係者に浸透していない。また、生徒の愛校心も低い状況にあると、教職員は認識している。本校の社会的評価を上げるために、進学率および進学実績の向上を図る。また、地域に貢献できるコース活動、部活動を更に推し進めることにより、生徒の自己肯定感を高める教育活動を行う。

学習指導要領の対応状況は高評価。更に肯定率を上げたい。年度当初のシラバス作成は引き続き行う。

教員・教科間連携が低い評価である。信頼感の醸成のために、教科会議の有効な活用を促す。また、効率的で有効な会議の運営を、各リーダーが率先して工夫していく必要がある。

財務関係および評議員・理事会機能については、理事会で方策を考える必要がある。

ホームページの更なる充実を図り、開かれた学校作りを、推し進める。今年度、授業公開は学校関係者にも広げて行く。また、学校の危機管理体制を、更に強化する。

◎ 教育内容

情報教育については、今夏のICT教室の設置を見据えて、更に充実させて行く。また、携帯電話の校内持ち込み可を前向きに検討し、許可する場合にはマナー教育・情報モラル教育を徹底する。人権教育の研究体制や教育体制については、効果的な方法を模索していく。環境問題意識についても同様である。校舎内壁の張り替えや、生徒トイレのリニューアルに伴い、生徒の校内美化に対する意識は以前より高まったが、更に実践的態度の育成に努めたい。食堂は抜本的な改革が必要な時期に来ている。魅力的な学校をめざすには、食育の部分は大きい。

生徒会活動の活性化については、引き続き組織の見直しを模索する。生徒の自主的な活動としての、学園祭の充実を目指したい。

読書指導、国際理解・国際交流について依然本校は弱い。各担当で具体的な方針を立てるように促す。部活動の活性化は本校の重要な柱として位置づけている。学校として支援する体制を更に強化したい。

◎ 生徒指導・支援

本校の生徒指導は、中学校・地域・保護者から評価されている。更に期待に応えられる体制を整えて行く。進路指導についても、生徒の多様な進路に答えられるきめ細かい指導を堅持したい。ただ、情報発信において保護者評価が低いことから、今後の新テストの実施を見据え、充実した情報の発信をお願いしたい。学習指導については、各教員が生徒の実態に合わせた工夫・改善を行っている。ただ、保護者の評価は高くない。更に充実した、きめ細かい学習指導を行いたい。

◎ 教員研修・資質向上

教員研修・資質向上は、年間を通じてもっと充実させなければならない。長期休業中の教員研修の回数を増やす必要がある。

◎ 総合評価

本校の生徒指導は、中学校・地域・保護者から評価されている。今後も生徒指導に強い精華という体制は堅持したい。進路指導については、生徒の多様な進路に応えられるきめ細かい指導を継続したい。保護者からの要望の強かった進路の情報発信はしっかり行う。学習指導については、各教員が生徒の実態に合わせた工夫・改善を行っている。更に充実した、きめ細かい学習指導を行いたい。

建学の精神（教育目標）が、学校関係者に浸透していない。また、生徒の愛校心も低い状況にあると、教職員は認識している。本校の社会的評価を上げるために、進学率および進学実績の向上を図る。また、地域に貢献できるコース活動、部活動を更に推し進めることにより、生徒の自己肯定感を高める教育活動を行いたい。

情報教育、人権教育、環境教育については、具体的な方策を立てながら強化する必要がある。国際理解教育・国際交流についても、国際交流室を中心に引き続き取り組む。教員研修、教員の資質向上についても更に充実させなければならない。

本校は保護者、中学校、地域に信頼される、地域に根ざした学校を目指す。また、時代の要請に応えるため、教育改革会議を立ち上げ、時代が求める新しい教育に取り組んでいく。

学校協議会からの意見 [平成29年9月実施分]

出席者 堺市福田校区自治連合会長
堺市西陶器校区自治連合会長
堺市東陶器校区自治連合会長
精華高等学校保護者会長
精華高等学校同窓会長
精華高等学校校長
精華高等学校教頭
精華高等学校教頭
精華高等学校事務長
精華高等学校教務部長
精華高等学校生徒指導部長
精華高等学校進路指導部長
精華高等学校ミドルリーダー研修対象教員（2名）

◎ 校長より

教師によって力量が違うが、しっかり授業をしていただくようお願いしている。

◎ 各委員から

- ・1年生から3年生まで見学したのは初めてだが、学年を追うごとに成長を遂げ、3年生がしっかりしているのを感じ、安心した。
- ・寝てる方が迷惑にならないように考えている先生もいるように思う。信頼関係や思い入れの問題。
- ・備品、教室の汚れは生徒の汚れだと感じる。そういう意味では2年4組が備品の汚れなどなく良かった。（整理整頓の必要性・美化委員の活躍）
- ・女性の先生の話は聞いているのかという疑問はあったが、概ねよかった。頑張っていると思った。やはり教室等がきれいな方が落ち着くと思う。
- ・机が小さいように思うが。また汚れているようにも見える。
- ・今どきの高校生はよくわからないが、私学の特色が出ていると思った。まじめに授業を受けているしきれいである。校舎が荒れると学校も荒れている。公立高校は汚れていた。
- ・校舎内外の整備によって生徒も変わる。
- ・生徒が寝ている様子が気になる。注意をしてはいけないのだろうか。生徒による対教師暴力事件が起こった福岡の高校のようなことにならないように願っている。

◎ 指導について

- ・寝てる生徒を無視して授業を進めることは楽であるが、きちんと起こしている。研修等を行い、ここ数年授業に熱心に取り組んでいる。（教務部長）
- ・“自分で自分の進路を見つける”という点は今も変わらないが率が低くなっている。チャレンジ精神が少なくなってきた易きに流れる生徒が増えている。本人も保護者も早く決めたい傾向。安全志向である。もう少し頑張ればもっと伸びると思う生徒が多い。（進路指導部長）
- ・無気力な生徒が増えている。しつけができていない生徒が多いので1から教えていく細やかな指導が必要。また、個で時間を過ごす生徒が多く、人との交流・集団行動が苦手な生徒が増えている。（生徒指導部長）

◎ 学校への要望

- ・精華のレベルも上がってきていると聞いている。現在、地域では小学校が移転新築されており、通学経路が異なる予定だが、高校生の自転車通学与小中学生の登校が重なるので事故等が心配。自転車通学のマナーを守ってほしい。

- ・仲間作りができればいじめもなくなるのではないか。
- ・部活について吹奏楽部は活躍しているが、運動部も頑張ってもらいたい。
- ・図書の実践に力を入れてはどうか。蔵書が少ないように思う。
- ・精華はバランスのいい学校なので、文武両道を目指して頑張ってもらいたい。

◎その他

- ・前日の福岡県の高等学校で発生した対教師暴力事件で高校生が逮捕されたことが話題になった。
- ・先生の気質も変化している。以前は挨拶してくれない先生もいたが、良く改善されている。

◎校長より

- ・授業の実践に力を入れたい。
- ・各コース特色を持たせる。
- ・私学としてもっと施設を充実させたい（ICT 教室）
- ・美化の強化に力を入れたい。

学校運営計画表

	PLAN [重点目標]	DO [具体的取り組み]	CHECK [自己評価]	ACTION [改善の為の方針]
1	日々の授業を充実させる。各コースの教育内容を充実させ、専門性を高める。	研究授業を充実させ、授業公開を増やす。教員の授業に対する意識を高める。その方策として、生徒の授業評価の実施を検討する。 ※2以下に各コースの具体的取り組みを述べる。	△ 公開授業は増加傾向にあるが、教員によって授業に対する意識や、取り組みが不十分な授業がある。6月に行われた保護者懇談会において、授業の不成立や授業に対する要望が出ている。特に非常勤講師の先生方において、その傾向が強い。	非常勤講師の先生方を中心に、基本的な授業のあり方を学ばせる機会を設ける。また、先生方の人権意識の向上も、啓発して行きたい。各コース長と連携し、各コースの問題点・課題などを整理し、コースの教育内容の充実・発展につなげる。生徒の授業評価を行い、授業の改善に
	学校自己評価「授業公開状況」および各コースの教育内容に関する学校自己評価、また、保護者評価「内容がわかりやすい充実した授業が多い」「生徒が興味・関心を持って取り組むことが出来るような授業が多い」「各コースにおける専門教科の授業内容は充実している」等を確認しながら評価する。			
2	高校生としての自覚を持たせ、基本的な生活習慣を身に付けさせる。落ち着いた雰囲気の中で、授業を受けさせる。将来を見据えた確かなコース選択をさせる。特進共通コースにおいて、学び直しシステムを確立する。	入学直後に、オリエンテーションを2日実施する。昼食時巡回を毎日実施する。週1回のコース朝礼においては教員輪番で講話を行い、5月から早朝学習を実施する。コースガイダンスの内容を充実させ、コース選択のミスマッチをなくす。特進共通コースにおける学び直しシステムを構築するために、具体的に検討する組織を立ち上げる。	△ 生徒指導部の立案の下、先生方の朝の立ち番、昼食時巡回は出来ている。コースガイダンスの内容については、例年通り行っているが、コース選択のミスマッチをなくすためには、検討の余地あり。特進共通コースにおける学び直しシステムを構築するために、具体的に検討を始めている。	朝の立ち番・昼食時巡回・放課後の立ち番については、引き続き充実させる。コースガイダンスについては、内容を充実するための方策を検討する。特進共通コースにおける学び直しシステムの構築は、検討を進め具体化して行く。
	学校自己評価「学習指導において、生徒の実態に合わせた指導方法の工夫・改善を行っている」、また保護者評価「生徒はあいさつをよくする」等を確認しながら評価する。			
3	中学校までの復習を実施し、学習の習慣を身に付けさせる。授業と講座を通じて、大学受験に必要な学力を習得させる。大学進学に関する情報を提供すると共に、自ら調べる力を養成する。志望校に合格させる。	放課後・長期休業中の受験講座を充実させる。そのため、外部講師の派遣も検討する。早朝学習・コース合同テスト・大学見学会・進路講演会・勉強合宿等を実施する。入試対策室・広報を中心に、広報を強化し、特進選抜コース入学生の増加を図る。特進共通コースからの転コースを促すため、生徒の大学進学に対する意識を高めるよう指導する。	△ 外部講師の派遣は実現していない。放課後・長期休業中の受験講座を充実させるには、まだまだ課題が多い。大学見学会・進路講演会・勉強合宿（特進選抜コース）は充実してきている。特進選抜コース入学生は21人だったが、もっと増やしたい。	外部講師については前向きに検討しながら、受験講座を充実させる。広報を更に強化し、特進選抜コースの入学生の増加を図る。
	学校自己評価「生徒一人ひとりの興味・関心・適性に応じた			

	進路選択ができるような支援体制がある」、また保護者評価「学校は進路に関する連絡や、情報提供を十分にしている」「学校は進路に関する保護者や生徒の相談に乗っている」等の満足度の結果を確認し、保護者の意見欄を参考にしながら評価する。				
4	IT 総合コースでは、規律を重んじ、高校生としての自覚を持たせる指導を行う。また、専門性を高め更に魅力的なコースにして行く。	基本的な生活習慣の確立させ、遅刻・欠席をなくす指導をコース全体で取り組む。 コンピュータに関する資格取得率 100%をめざす。また、簿記検定にも取り組む。 情報モラル教育を強化し、ネット関係のトラブルを未然に防ぐ。 プレゼンテーションの方法を学び、コミュニケーション能力を向上させる。	○	IT 総合コースは全体的に落ち着きのあるコースになって来ている。コンピュータに関する資格取得率も高まり、情報処理技能検定1級取得 14人はいい結果である。昨年度簿記検定の合格者は出なかったが、今年度は期待したい。校外研修や宿泊研修において、生徒がプレゼンテーションを行い、プランを練ったりしている。	現在のコースの教育内容を、更に充実し推進させる。特にコンピュータに関する資格取得率は、更に上をめざしたい。
	6月・11月に実施される保護者懇談会における意見と、学校自己評価「情報能力育成」「情報モラル指導」、年度末の保護者評価アンケート結果および意見欄を参考にし、IT 総合コース長と検討を加え評価する。				
5	環境福祉コースでは、高校生としての自覚を持たせ、基本的な生活習慣を確立させる。コースの特色を活かした教科実習や活動を通じて、やさしく思いやりのある心を育む。また、専門性を高め更に魅力的なコースにして行く。	遅刻・欠席については実習先との関係があるので、厳しく指導する。 コース朝礼において、生徒のプレゼンを実施する。 保育所や幼稚園・こども園、また、高齢者施設での交流を引き続き充実させる。 ビオトープ実習や、無農薬野菜の栽培を通して、環境問題に対する高い意識を持った生徒を育成する。 介護職員初任者研修を実施する。	△	今年度の環境福祉コースは、やや落ち着きがない。目標にある、基本的な生活習慣の確立が急がれる。コースの専門的な実習や指導内容は、よく考え、工夫されている。	高校生としての自覚を持たせ、基本的な生活習慣を確立させるため、生徒指導を強化する。コースの特性を生かした専門的な実習や指導内容は、引き続き実施する。
	6月・11月に実施される保護者懇談会における意見と、学校自己評価『環境教育』の項目、年度末の保護者評価アンケート結果および意見欄を参考にし、環境福祉コース長と検討を加え評価する。				
6	スポーツ健康コースでは、集団行動と協調性の大切さを意識させ、時間厳守を守らせる。コースの特色ある授業や体験実習を通じて、素直で思いやりのある心を育む。さまざまなスポーツやトレーニングに関する知識を学び、自らの健康の保持、増進に努める。	遅刻・欠席をできる限り少なくするために、保護者との連携をしっかりと行う。ゴルフ実習や、金剛登山等コース行事を通して心身を鍛え、スポーツの楽しさを学ぶ。 コース講演会やテーピング実習を行い、専門的な知識を学ぶ。 身体体力測定やマラソン大会などの補助役員を務め、集団に貢献する心を養う。	○	集団行動と協調性の大切さを意識させる、指導を行っている。精華学園祭体育の部では、初めて「集団行動」の実演を行い、好評を博した。ゴルフ実習で、スポーツの楽しさを学ぶことが出来た。秋には金剛登山も予定している。コース講演会やテーピング実習を行い、専門的な知識を学ぶことが出来た。身体体力測定では補助役員を務め、集団に貢献した。	クラブ員をはじめ元気な生徒が多いので、集団行動と協調性の大切さを意識させ、時間厳守を守らせることを徹底していきたい。
	6月・11月に実施される保護者懇談会における意見と、学校自己評価「健康・食育」、「スポーツ活動、芸術文化活動を計画的に教育活動に取り入れている」、年度末の保護者評価アンケート結果および意見欄を参考にし、スポーツ健康コース長と検討を加え評価する。				
	大学進学に力を入ると共に、公務員や就職など希望進路の実現に努める。	学習習慣を確立させ、基礎学力を底上げする。また、学習体制を強化する。漢字検定や英語検定などの資格取得をめざす。		進学講座の参加人数が極端に少なかった。2年生の検定合格率が低くなった。	大学進学に力を入れるためには、講座の見直しが必要である。公務員や就職など多様な

7	<p>コース独自の特徴を持たせるための検討を開始する。</p>	<p>新聞コラムや漢字、一般常識などを朝学において学ぶ。 大学進学実績の向上と共に、専門学校や公務員・就職などの希望進路を実現させる。</p>	△	<p>学習習慣の定着はまだ不十分である。AO入試や指定校推薦入試で大学を決める生徒が、大多数である。また、専門学校への進学者が増加した。そんな中、特進総合コースから、関西学院大学に合格する生徒が出た。</p>	<p>進路に応えるための方策を打ち出す必要がある。指定校頼みの進路指導から脱却する必要がある。</p>
	<p>6月・11月に実施される保護者懇談会における意見と、学校自己評価、年度末の保護者評価アンケート結果および意見欄を参考にして、特進総合コース長と検討を加え評価する。</p>				
8	<p>国際理解教育に取り組む。</p>	<p>個人参加型の語学研修を実施し、成功させる。 大阪府グローバルリーダー育成・留学促進事業に参加する。 海外の学校との姉妹提携を模索し、交換留学生の制度を確立する。</p>	×	<p>個人参加型の語学研修を実施したが、参加人数が極端に少ない。原因の分析が必要である。現在、海外の学校との姉妹提携を模索している。</p>	<p>引き続き、個人参加型の語学研修を実施する。その際、事前指導・事後指導をしっかりと行い、語学の習得と国際理解の深化を目指す。大阪府グローバルリーダー育成・留学促進事業に参加する。海外の学校との姉妹提携を、引き続き模索する。</p>
	<p>学校自己評価における、「国際理解」の項目において、評価の肯定率70%以上をめざす。</p>				
9	<p>強化クラブである吹奏楽部を中心に、運動部・文化部共に部活動の活性化を図る。また、それらの活動を通じて地域社会に貢献して行く。</p>	<p>本校における部活動指導の位置づけを明確にし、部活動顧問手当を拡充する。部活動推薦生徒（専願）の本校入学者数を増やすため、広報活動を強化する。オープンスクールの参加人数を増やし、部活動推薦生徒の増加を図る。吹奏楽部・インターアクトクラブ・演劇部等を中心に、地域社会に貢献する。</p>	△	<p>部活動顧問手当を拡充した。また、部活動推薦生徒（専願）の本校入学者数を増やすため、教頭を中心に、広報活動を強化した。オープンスクールの参加人数を増やした。吹奏楽部・インターアクトクラブ・演劇部等を中心に、地域社会に貢献している。しかし、部活動の活性化は、まだまだ道半ばである。</p>	<p>部活動推薦生徒（専願）の本校入学者数を増やすため、広報活動を更に強化する。</p>
	<p>学校自己評価における、「部活動」の項目並びに保護者評価「部活動は活発である」の項目において、評価の肯定率70%以上をめざす。</p>				
10	<p>老朽化した校舎・トイレの改装に引き続き取り組み、清潔・安全な学校をめざす。それに伴い、生徒の美化意識を高める。</p>	<p>昨年に引き続き、校舎1階の生徒トイレを改装し洋式化する。また、多目的トイレを設置する。校舎老朽化に伴う外壁工事を、引き続き行う。講話や清掃指導により、生徒の美化意識を高める。</p>	○	<p>校舎外壁工事と、校舎1階の生徒トイレの洋式化は完了した。また、多目的トイレは完成。生徒の美化意識の向上については、まだまだ不足している。</p>	<p>来年度は引き続き、校舎外壁工事と、生徒トイレの洋式化を進める。生徒の美化意識の向上のための方策を打ち出す。</p>
	<p>学校自己評価における、「環境教育」の項目並びに、保護者評価「学校の設備・備品は、学習環境の面においてほぼ満足できるものである」「教室・特別教室・運動場などの施設は、活動しやすいように整備されている」「学校内は、清掃が行き届いていて、清潔である」の3項目において、評価の肯定率70%以上をめざす。</p>				
11	<p>広報の充実・強化、ホームページの充実を図る。</p>	<p>広報に携わる教員を増員し、広報を強化し本校のイメージアップを図る。ホームページを充実させる。本校の斬新な広報を継続すると共に、オープンスクールの企画・実施を行う。</p>	○	<p>広報に携わる教員を増員し、ホームページを充実させた。しかし、広報の職務範囲について曖昧なところがあり、広報のイメージ統一は道半ばである。本校の斬新な広報は継続出来</p>	<p>広報の職務範囲を明確にし、学校広報の強化とイメージの統一を更に進める。</p>
	<p>保護者評価「学校のホームページは充実している」において、評価の肯定率70%以上をめざす。</p>				

				ている。オープンスクールは多くの中学生の参加を見たが、更に工夫を重ね、強化して行く。
12	<p>2020年の新テスト実施に向けて、また、アクティブラーニングの実施、近い将来のカリキュラム改変に向けて検討し推進する組織を立ち上げる。学校の諸課題を検討するプロジェクトチームを、校長を中心に組織する。</p>	<p>2020年新テスト実施に向けて 教頭・進路指導部長を中心に対策を検討する。</p> <p>カリキュラム改変については、校長直轄とし、両教頭・教務部長で推進していく。</p> <p>アクティブラーニング実施については、教頭を中心に各教科若手教員を組織し研究して行く。</p> <p>ICT推進は、教頭・事務長を中心に検討する。</p> <p>特選・特総コースのあり方（指定校の配置を含めて）、特共コースにおける学び直しの実施、成績アップ指導のあり方、成績評価のあり方等、本校の諸課題については校長・両教頭・教務部長・進路指導部長を中心に、学校の方向性を出す。</p>	△	<p>各組織を立ち上げ、学校の諸課題および教育改革について、検討を始めている。</p> <p>新しい方針を策定し、教職員に周知した上、強力で推進していく。</p>
	学校自己評価を参考に、実施状況を評価する。			